

新たに組織を設立したいと思ったら

「自分の地域にはまだ組織がないけど、この事例集を読み、新たに組織を立ち上げたい」と思われた方もいるかもしれません。設立のプロセスは地域によって様々ですが、一般的には以下のプロセスをたどります。詳しくは裏表紙のガイドブック①をご覧ください。

ステップ① 地域内の様々な主体での検討体制構築

地域内の課題共有、新たに始めたい活動などを話し合いを通じて検討していきます（〇〇地域を考える会など）。参加者は、地域内の既存組織のメンバーや有志、推薦された人など幅広い年齢層・立場の人に呼びかけます。行政職員もこの話し合いに参加してサポートを行います。

ステップ② 地域住民のニーズを調査

アンケート調査や対面のヒアリングなどで、地域住民の困りごとなどを把握します。地域内の状況を知ることはもちろん、現在の話し合いの様子や地域で考えていることを住民の皆さんに共有する側面もあります。

ステップ③ ビジョン、計画の策定と組織体制の検討

調査した課題や地域の強みを踏まえ、将来のビジョン、活動計画を策定します。新しい活動を始めるだけでなく、既存の活動や組織のスリム化、再編も考えましょう。活動内容や組織図の検討、関係団体との連携の仕方などをまとめ、住民全員に共有することが大切です。

ステップ④ 地域コミュニティ組織の立ち上げ、活動開始

組織が立ち上がったなら、個別の活動だけでなく、組織運営にも気を配りましょう。設立時には、カリスマリーダーやスーパー事務局長がいると心強いです。その役割を徐々に分担し、仕組み、制度として、組織の中に埋め込みましょう。あわせて、運営の担い手となる人材の確保にも気を配りましょう。

▶ 伴走支援、活用しませんか？

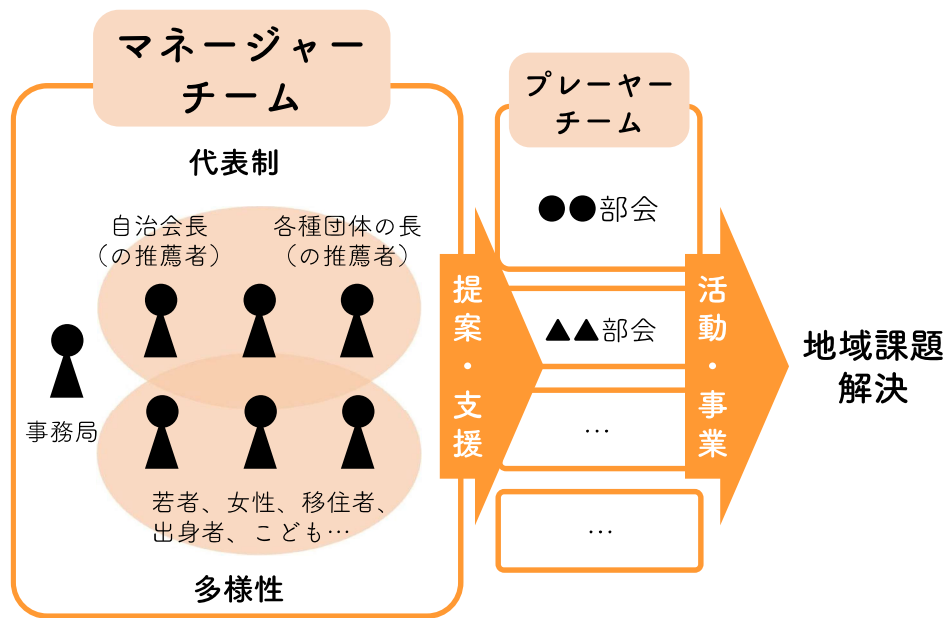
ネットワーク・コミュニティの構築を進めていく中で、話し合いの進め方や、方向性の検討で行き詰まってしまうことがあるかもしれません。県では、それらのお悩みに寄り添い、伴走する専門家の派遣も行っています。詳しくは、裏表紙のお近くの振興局の地域創生部にご連絡ください。

「マネージャー」のチームをつくろう！

この事例集で紹介した事例では、自分たちのやれる範囲で、楽しく、やりがいを持って活動していることが成功の大きなカギです。そのためには、何より**活動・事業を企画、支援するチーム**が必要です。

ポイントは、「代表制」と「多様性」です。「代表制」は、**地域の皆さんが自分たちの代表だと納得できるメンバーかどうか**、「多様性」は**企画や支援に必要な様々な能力や経験、人脈を持ったメンバーかどうか**です。

そのメンバーが核となり、様々な活動や事業を企画、提案、支援していきます。地域の皆さんがどう活躍できるかを考え、提案し、サポートする、やりがいのあるポジションです。つまり、**プレーヤーではなくマネージャーのチーム**です。



今、この事例集を読んでいるあなた、もし会長や事務局の立場でマネージャーとして孤軍奮闘されているようなら、仲間を集め、組織の運営の中心を担う、マネジメントのチームづくりを始めませんか。この事例集で紹介したメンバー集めやチームづくりの手法を、ぜひ参考にしてください。

また県では、活動や事業だけでなく、これらのチームづくりにも活用できる専門家派遣の支援事業を準備しています。裏表紙に掲載しているお近くの振興局に、お気軽にご相談ください。